

平成28年度（第12期第4回）小平市廃棄物減量等推進審議会  
会 議 次 第

平成28年12月12日（月）  
午後2時00分～  
小平市中央図書館視聴覚室

- 1 開会
- 2 調査
  - (1) 家庭ごみ有料化について  
講師 東洋大学経済学部教授 山谷修作先生
- 3 その他
- 4 閉会

配付資料

---

資料1 「家庭ごみ有料化について」（パワーポイント資料）

|                       |   |
|-----------------------|---|
| <p>会長</p>             | <p>ただいまから、第4回の審議会を開催いたします。<br/>         本日の審議会は、調査として、講師をお招きし「家庭ごみ有料化について」ご講演いただきます。<br/>         家庭ごみの有料化について、他市の状況も含めお話を伺うことができるせっかくの機会ですので、審議会委員のほか、小平市議会議員、小平市廃棄物減量等推進員（グリーンメイトこだいら）、小平市廃棄物減量推進実行委員会、小平市清掃事業協同組合、市の関係課に傍聴の案内をしております。そのため、本日の傍聴については事前に許可し、入室していただいております。<br/>         傍聴の皆様をお願いいたします。本日の講演は、審議会の調査として実施しておりますため、講演後の講師への質疑は審議会委員からのみお受けすることとさせていただきますのでご了承ください。</p>   |
| <p>会長</p>             | <p>では、次第の「2 調査」に移ります。<br/>         調査に先立ち、講師のご紹介を事務局からお願いします。</p>   |
| <p>事務局</p>            | <p>本日の講師の山谷修作先生のご紹介をさせていただきます。<br/>         山谷先生は、現在東洋大学経済学部の教授をされており、環境政策や廃棄物政策がご専門であります。全国各地の自治体で廃棄物減量等推進審議会委員に委嘱され、西東京市や多摩市、国立市などでは会長を務められております。更に全国各地の自治体で講演を行っており、今年は弘前市、千葉市、東広島市などでご講演をされておられます。また、執筆活動にも熱心に取り組み、「ごみゼロへの挑戦」「ごみ効率化」「ごみ見える化」などの著作物も出され、ご活躍されております。</p>  |
| <p>会長</p>             | <p>では、山谷先生よろしくをお願いいたします。</p>  |
|                       | <p>***** 講演 *****</p>   |
| <p>会長</p>             | <p>ありがとうございました。<br/>         審議会ではまさに審議会でこういう話をしていかなければいけない時期に来ていまして、先生のお話のとおり来年になりますと小平市と武蔵村山市だけが有料化をしていない自治体になりますので、なんとか有料化にこぎつけていきたいと思っております。審議会委員として大変助かりました。それでは、本日の講演内容について、ご質問がある審議会委員の方は挙手をお願いします。</p>  |
| <p>委員<br/><br/>山谷</p> | <p>ごみ減量のトップランナーとしての多摩地区という話にすごくびっくりしました。多摩地区ばかりが有料化していて、23区では有料化しているところがまったくないとのことで、有料化のきっかけがあったのでしょうか。<br/><br/>23区のいくつかの区で審議会の会長をやっていたので、23区の事情はある程度わかります。23区では海に埋立地があって、ずっと埋め立てていた歴史があり、多摩地域と比べますと最終処分場の制約が比較的緩いです。これに対して多摩地域の場合は、二ツ塚処分場の建設の時にもものすごい社会的摩擦があって、なんとかごみを減らしていかないとといけないという意識が広がっていったという違いが非常に大きいと思います。それと財政的に23区は非常に豊かであり、中央区、千代田区、港区には大企業の本社などがあって、主要な税としての固定資産税が入りますが、これは区ではなく、東京都が徴収しています。これを財政調整制度によって各区に配分していますので、23区全てが豊かです。財政的に厳しい時に、ごみを減らして経費を削減するという切迫度合が非常に低くて、地方交付税も不交付団体ですし、財政的な豊かさというものも、ごみ減量の推進力をそいできたと思います。</p> |

|     |   |
|-----|---|
| 会長  | <p>23区では埋め立て地を東京都が管理していて、多摩地域では埋め立て地を市町村がいっしょに管理しています。東京都が管理することと区でやらないといけないことがかなり分かれていて、そのへんで前に進まないのではないのでしょうか。</p>  |
| 委員  | <p>このアンケートは審議会委員以外の今日参加している全員が出せるのでしょうか。</p>  |
| 会長  | <p>全員に配っています。参考にさせていただければと思います。</p>   |
| 委員  | <p>我が家から出るごみは、極論しますと柔らかいプラスチック類だけです。それが資源化されるようになるとごみがなくなります。プラスチックのフィルム状のものの処理はどういう取り組みになっているのでしょうか、非常にお金がかかると聞いています。</p>  |
| 会長  | <p>有料化しているところの市町村の回収の方法についてですね。</p>   |
| 山谷  | <p>ご意見ということで聞かせていただきました。<br/>先ほどの23区では何で有料化が遅れているかということですが、有料化について全区にアンケート調査をしたことがありまして、有料化は準備が整った区から開始した方がいいか、全区が一斉に実施したほうがよいかという調査をしたところ、結果は半々に分かれました。全区一斉に実施したほうがよいということは、私に言わせれば、自主性がない非常に無責任なことだと思います。地方分権の時代に横並びでないと動きたくないという、覇気がないですね。2000年3月まで東京都清掃局が23区のごみ処理をやってきましたが、2000年4月から地方分権の推進ということでごみ処理とリサイクルは23区に引き渡されましたが、まだ東京都清掃局時代のいっしょにやっていくという意識から抜け出せないのだと思います。そういう区がまだ半分もあるという情けない話と書いていいと思います。それに比べますと、多摩地域は26市が独立してごみ減量施策を実施してきて、多摩地域の自治体に敬意を表したいと思います。もちろん住民の方々も自治体を叱咤激励してこられたということだと思います。そういうことの成果がだんだんと実を結んで、日本一のごみ減量地域になりましたし、日本一の資源化推進地域になったのだと思います。</p> |
| 会長  | <p>プラスチックの有料化をするかしないかや分別方法については、有料化の市と無料の市がありますので、審議会でも十分審議していきたいと思います。</p>   |
|     | <p>本日の調査については、以上といたします。ありがとうございました。</p>   |
|     | <p>次に、次第の「3 その他」に移ります。事務局から説明をお願いします。</p>   |
| 事務局 | <p>次回の第5回審議会につきましては、会場等の都合により、2月7日（火）午後2時から開催とさせていただきますと存じます。<br/>開催通知につきましては、1週間前を目途に送付いたします。<br/>本日のアンケートの質問等はまとめた上で先生に確認した上で次回の審議会でご回答したいと思います。<br/>アンケートは後日ファックス等で送っていただいても構いません。</p>   |
| 会長  | <p>それでは、本日はこれで閉会といたします。本日はお忙しい中、ありがとうございました。</p>  |